

運転マナー向上による地域力の向上を目指す

—福井商工会議所 交通・運輸部会座談会より—



東洋電機工業株式会社 社長
高木 亮一氏

帝商産業株式会社 社長
宇都木 勇氏

株式会社福井センイ倉庫 会長
三上 護氏

交通運輸部会 部長
福井貨物自動車株式会社 社長
清水 則明氏

株式会社ミツノリ 社長
水野 茂氏

福井商工会議所の会員事業所のうち、交通・運輸に関係する事業所で組織されている交通・運輸部会では、平成27年9月10日、部会委員企業5社の経営者による座談会を開催した。座談会では、今年度初めての取り組みとなる「運転マナー向上キャンペーンへの思い」と「部会」そして「業界の振興」について語って頂いた。今回はその内容をお伝えさせていただく。

印象としては、信号をあまり見ていない、周りをみて車が来てなければ行ってもいいのかなというぐらいの感覚なのかなという感じがします。

三上 私は福井県民ですが、皆様からそんな発言がありまして、そんなに悪いのかと運転マナーに関するランキング調査結果を見てみました。

ある調査では、運転マナーが悪いランキングは1位大阪府、2位愛知県、3位福岡県となっていました。ちなみに福井は26位。ランキングでは中位という結果ですが、それでいいとは思

いません。

福井は幸福度日本一とも言われていますし、小・中学生の学力もトップクラス。それだけ良い福井県のイメージからすれば26位というのはギャップがありすぎて残念でなりません。そこは自省すべき点かなという気がします。

高木 私も、生まれも育ちも福井です。他県では例えば免許の更新の時などで運転マナーに関する指導がたくさんあったり、いろんなところに運転マナーに関するポスターが貼ってあったりしますが、福井ではあまり運転マナーが悪いといったものは目につきません。

ですが、県外出身者からは運転マナーが悪いと言われる事があります。公共の啓蒙活動がもっとあってもいいのかもしれない。

清水 福井は車社会で車がない

福井の運転マナーの印象、その向上のための取り組み

清水 今年度、交通運輸部会ではステッカー・ポスターを作成し運転マナー向上のためのキャンペーンを行っています。

このキャンペーンのきっかけは、交通運輸部会の会議で水野さんから「福井の運転マナーはよろしくないのではないか」とのご発言からです。その時の水野さんの思いをお話いただけますか。

水野 私は福井に生まれて7年になります。福井の地域柄、車の運転をせざるを得ないのですが、来県当初から運転マナーに関して本当に驚く事が連発でした。



株式会社ミツノリ 社長
水野 茂氏



株式会社ミツノリ 社長
宇都木 勇氏

例えば赤信号で交差点に車が入ってくる、一旦停止は止まら

と何も出来ないですし、共働きの率の高さや勤勉さ、雪国など何か福井特有の理由があるのかもかもしれませんね。

今回の運転マナー向上キャンペーンでは、運転マナー向上に関するポスターとステッカーを作成し、福井商工会議所の議員企業と交通・運輸部会の所属会

ない、歩行者は完全に無視、などです。福井では横断歩道の手前で止まる車は多くないですよ。結局、歩行者も車が通過するまで待っています。

会議の時にそのような発言をしたところ、福井に長年お住まいの方には「そんなことないですよ、福井の運転マナーは他県と比べても悪くないですよ」と言われました。

ただ、我々のような県外から来たものにとっては車の運転が怖い街であるという印象であり、その辺のギャップを感じました。北陸新幹線の金沢開業の影響もあって、永平寺や東尋坊などの観光地では石川からのレンタカーが増えていると聞きます。他県の人達が福井で運転するにあたり福井の運転マナーをどう感じるかという思いがあります。

宇都木 私も福井にきて5年目になります。全国的に交通マナーが悪いと言われる大阪から来ましたが、やはり福井の運転マナーには多少の違和感を覚えました。

員に配布しています。期間は福井国体が開催される2018年までです。

まずは我々交通・運輸部会の会員企業が、社員一人一人の交通マナーを向上しようという事を始めないといけないと思っています。

宇都木 ステッカーを貼る事によってドライバー自身が自覚しますね。

高木 交通マナーでいいですよ昔はトラックの運転マナーはあまり良くないという話もありましたが、今は運転のお手本と なっています。一般の人も見



10月1日から実施する「運転マナー向上キャンペーン」ステッカー。福井の代名詞「恐竜」をあしらった親しみやすいデザインとなっている。

習ってもらおうといいと思います。
三上 まずは各社でポスター、ステッカーを貼って率先していきましよう。

プロのドライバーを見習ってもらえれば、運転マナーは良くなり「運転マナーの素晴らしいランキング1位」になれるかもしれない。福井国体や北陸新幹線の福井延伸などに向けて、県外の方に対して恥ずかしくない県にしていましよう。我々は運転マナー向上に向けた取組をしますよというPRにもなります。

水野 ステッカーには恐竜王国の文字もありたくさん人の目にふれてもらえれば恐竜王国福井のPRにもなります。運転マナーの向上が幸福度ナンバー1の仕上げになればと思います。

**ビジネスに繋がる
部会ネットワーク**

清水 本年8月5日に福井商工会議所ビルにて部会内の交流会を開きました。

ということ。こうしたこと

要因となって、新卒で物流業界に入りたいという人が少なくなってきた印象があります。

高木 自動車販売修理整備も人材不足が深刻です。自動車整備の学校に行く人数が少なくなり、学校の数も減りつつあります。

職場環境以前に若者の機械いじりに対する興味が希薄になってきているのかもしれない。自動車の構造が変わってきて、自動車整備の面白さが少なくなっている。



（株）福井センイ倉庫 会長
三上 護 氏

参加者には事前に会社の事業内容に関するアンケートを書いてもらい、それを事前に皆様にお配りして効率的に行いました。この交流会の提案は三上さんでした。

三上 私のもともとの発案は、交通・運輸部会は物流など同じようなお仕事をしている仲間なので、決して個別企業だけでやっていくのではなく、お互いに補完しあっている、もっと連携出来ることがあるのでないかという思いからです。

まず初めは部会からお互いの連携を深め、ビジネスを広げていけたら良いなど。

清水 交流会を開いてみて本当に良かったと思います。この会社はこういう事をやっているのだという新たな発見がたくさん

きていともいえます。

水野 トラガールというものが注目されていますが、弊社でも女性の登用についていろいろ考えています。

我々が今やっている業務、トラック荷物などは女性の活躍が難しいと思われていますが、今はアタッチメント、パワースーツが盛んになってきています。こういったものを活用出来ればと思っています。

三上 我々の業界は労働力不足のほかに荷主の業績に左右されるという問題もあります。

貨物量の減少が、我々の収益減につながり、それにより賃金も上げにくくなります。その結果、人材不足に拍車がかかってしまっています。

宇部 他県では企業誘致によって大きな工場が進出し、物量が出てきています。

福井でももっともっと大きな工場が進出してくれば好転していくのではないのでしょうか。

水野 今回の運転マナー向上キャンペーンでは、幸福度ナン

ありました。

顔なじみの社長との間であっても、普段なかなか細かな業務の話は出てきません。それでも新規事業を立ち上げたり、時代とともにやっている事は変化していきますから、今回交流会の場で改めて各社の取り組み内容やグループ会社関係などを聞いて多くの発見がありました。

三上 今、物流業界を取り巻く環境は非常に厳しいです。なんでもかんでも自分の会社だけでやったら効率が悪くなってしまいます。部会内の企業を自分の会社の一部署とやってやることによりかなり効率も収益性もあがるのではないかと思います。今回の交流会では早速ビジネスの成果があつたようです。

清水 交流会のアンケートで初めて、この企業がこういったものを取り扱っているという事が分かって、その商品の契約が成立したという例がありました。年に一回くらいは交流会をやつていけば、まだまだ成果が上がると思います。

バー1の福井に、交通マナーもナンバー1とさらに環境としていい県をつくらうとしています。だから、いろんな企業にどんな福井に進出してもらうきっかけにもなると良いですね。そうすれば業界もきつと盛り上がるはず。です。

三上 運転マナーが向上することと「さすが福井は人も車も優しい」ということになり福井のイメージがさらに上がります。

そうならば、交通・運輸部会の中の観光に関連する企業には良い影響を与えるでしょう。

清水 交通マナーキャンペーンも部会交流会も部会員の方から出てきた意見です。今回それに対して具体的に活動を始めてみました。

広くまた皆さんの意見を聞きながら、今後も地域のために役立つ活動を続けていきたいと思っています。

（文責：福井商工会議所

経営支援・人材育成課 岩本）

地産地消といいますが、お互いに利用しあう、福井にある企業同士でもう少し連携しあった方が、お金が福井に落ちるわけですし、そんな風になっていくとう少し地域が活性化していくのではないかと思います。いずれは部会の枠を超え、商工会議所全体でやっていけたら一番良いと思います。

**業界を取り巻く環境と
今後の部会活動**

三上 交通運輸業界を取り巻く環境はあまりよくありません。特に人材不足が深刻です。トラックにしても倉庫にしても自動車整備にしても、交通・運輸部会に総じて言えるのが3K環境（きつい、汚い、危険）だと



交通運輸部会 部会長
福井貨物自動車(株) 社長
清水 則明 氏